

認知症サポーター等の活動促進及び認知症のある人の社会参加について

I 認知症サポーター等の活動促進

1 趣 旨

第1回認知症施策検討専門部会において、『チームオレンジ Bunkyo』サポーターによる認知症に優しいまちづくり2.0』の取組状況を報告した。前回の報告後から現在に至るまでの事業の実施状況について報告する。

2 主な事業内容と取組状況

(1) 地域で継続的に活動するサポーターの育成

① 認知症サポーターステップアップ講座

養成講座を受講した認知症サポーターを対象に、地域でのボランティア活動を後押しするため、令和5年度からより実践的な講座内容に拡充して実施している。

(定員20名)

年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
養成者(修了者)数	19名	13名	17名

(2) サポーターの活動状況と活動支援

① チームオレンジ活動

認知症カフェ等で、認知症当事者や専門職とともに、継続的に運営の一端を担っている。

令和7年度 活動先	(認知症カフェ) ねずカフェ	(認知症カフェ) もとふじカフェ	(本人交流会) あんな坂こんな坂の会
活動者数	2名	1名	8名

② 認知症サポーター勉強会・交流会

ステップアップ講座修了者を対象に、地域活動に必要な知識やスキルについて理解を深めるための勉強会と、モチベーションの維持・向上を図るための交流会を開催(年2回)している。

(令和7年度のテーマと実施内容)

第1回：認知症のある方との交流を通じて認知症や当事者に対する先入観に気づき、理解を深める。

第2回：認知症のある方を介護する家族の本音を知り、地域でのサポートにつなげる。

II 認知症のある人の社会参加

1 趣 旨

認知症基本法を踏まえ、認知症の本人が地域で主体的に活動できるよう、関係機関と連携し、社会参加に関する機会を創出する取組みを進めている。前回の報告後から現在に至るまでの事業の実施状況について報告する。

2 主な事業内容と取組状況

(1) 注文をまちがえる もったいない野菜マルシェ(後援事業)

認知症当事者がスタッフとして、“もったいない野菜”(市場に売り出されない規格外の野

菜)の販売・試食会に従事することで、認知症当事者と地域住民との対話や交流を促進する。
〈開催日時〉令和7年9月21日(日)12時～18時 ※世界アルツハイマーデー(認知症の日)
〈運営〉主催：(株)ケアワーク弥生 後援：文京区
〈参加者数〉計482人(認知症当事者8人、介護スタッフ2人、バックスタッフ8人、ボランティア12人、来場者452人)

(2) チームオレンジお助け隊事業(令和7年度重点施策)

シルバー人材センターと連携を図り、区内事業所から受注した仕事を、認知症(MCIやもの忘れ)のある会員とサポート会員が「チームオレンジお助け隊」として一緒に就業する。その活動を通じて、認知症に優しいまちに係る普及啓発や理解の促進を図る。

① 取組状況

ア 認知症当事者会員等の募集

高齢者あんしん相談センターや地区医師会等への協力依頼、認知症カフェ等の各事業の参加者へ案内を行っている。

【活動登録者数】※令和7年12月末現在

認知症当事者会員：4名 サポーター会員：2名

イ 区内事業所への周知及び受注の開拓

区及びシルバー人材センターの既存の取引先事業所、区内大学等へ打診している。

【受注件数】1件・室内での軽作業

(簡易キットの組立て、スタンプ押し、資料の封入作業等)

ウ 活動状況

令和7年11月より「チームオレンジお助け隊」活動を開始した。

〈参考〉東京都認知症のある人の社会参加推進事業・第2回検討会 発表資料
別紙1のとおり

(3) 喫茶ほっこり

駒込圏域の本人交流会「あんな坂こんな坂の会」に参加している方が、店員になっておもてなしをする『喫茶ほっこり』を開催する。合わせて、地域の方々による演奏や作品の展示等も行い、地域での交流を促進する。

〈開催日時〉令和8年2月15日(日)13時30分～15時

〈場所〉千駄木の郷 ラウンジらん(千駄木5-19-2) 別紙2のとおり

① 取組状況

ア イベントの企画と名称

本人交流会において本イベントの開催の話が挙がり、参加者の意見を踏まえて『喫茶ほっこり』の名称を決定した。

イ 認知症サポーターへの周知と準備

多くの認知症サポーターが活躍できるように工夫し、日頃から「あんな坂こんな坂の会」の運営に携わっているサポーターのほか、他のサポーターにも参加を呼びかけ、企画や準備、当日の運営補助に参画いただく。